

情報名:3Pブレンダーを使用した高難易度 3 コートパールボカシ塗装

トヨタ 057 等、主にゴールド系パール(HG系)を使用している3コートパール塗色のカラーベースのボカシキワが黄色くなる問題について、下記の方法が有効です。下記の方法が有効です。下記の方法が有効です。

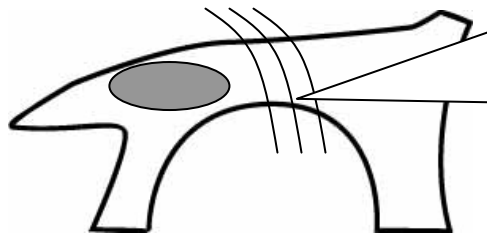
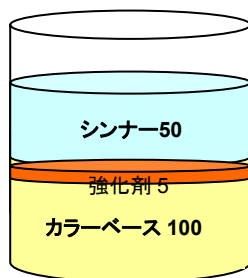


①カラーベース 100 に対しアクロベースシンナーを 50%で希釈します。

(カラーベース希釈済みを A とします)※強化剤 5%添加

A を塗り広げながら色決めしていきます。

(A)

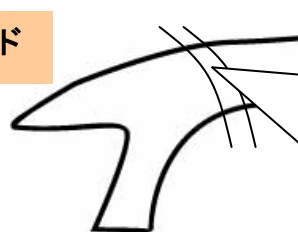
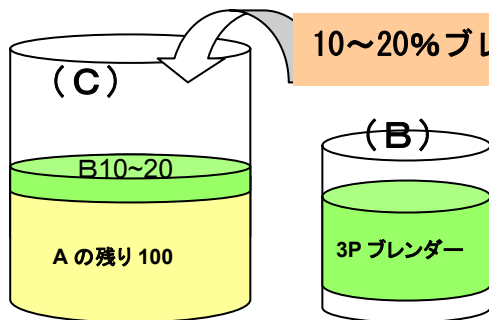


図のように徐々に塗り広げて2~3回で色決めを行います。アクロベースは隠蔽性に優れますので1度に厚塗りは厳禁です。あまり散らさないように。

◆Point※セッティング⇒最低 指触乾燥させます。

②カラーベースの際を消す作業として、ガンの中に残った(A)に対し 3P ブレンダー(B)を 10~20%程度ブレンドします。

(このブレンド品を C とします)C を 2~3 回ミディアムコートします。



C をカラーベースの際より広くミストをなじませる様に2~3回ほどミディアムコートします。際の黄色味が消えます。エアブローはしっかりと。

◆Point※パールベースに入る前は少し長めにセッティング！

必要に応じて C を B またはアクロシンナーでブレンドし再度ボカシ塗装する。

③ガンの中の(C)を除き、洗浄せずそのままパールベースを入れます。

パールベースは(A)シンナー50~70%で希釈。※強化剤 5%添加。

※トヨタ 065 のようにパールベースに黄色系原色が入っている塗色に関してはボカシの場合あらかじめ省いての調色をお勧めします。

④最終仕上はパールベース単体で全体をなじませる様にボカシ塗装します。

この時、光源(デイトミニ / スポットヒーター等)でのパール感をチェックしながら行ってください。